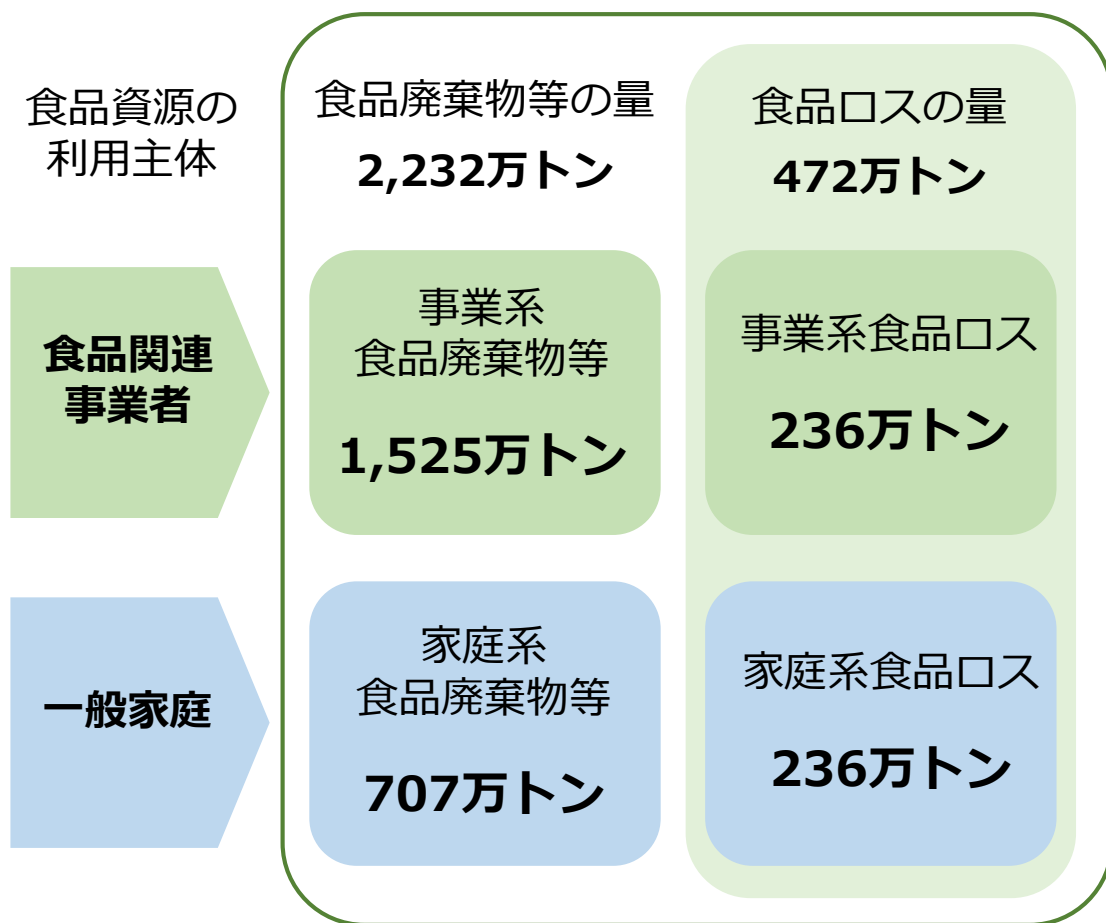


食品ロスの概要

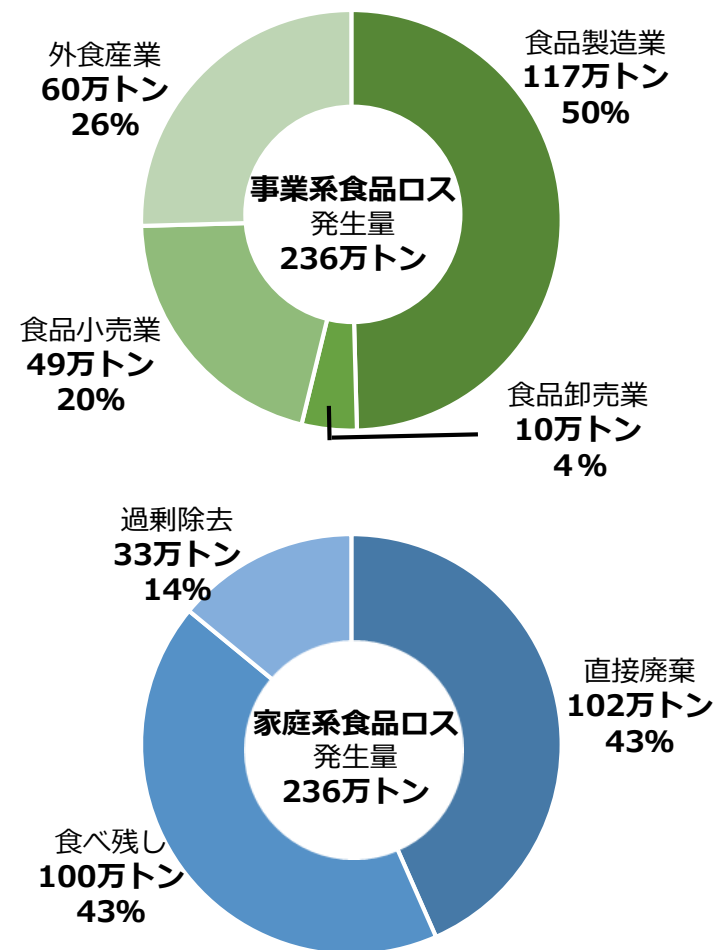
岩手県環境生活部
資源循環推進課

食品廃棄物と食品ロスの現状

▶ 食品廃棄物と食品ロス



▶ 食品ロスの内訳



目指す姿

▶ 基本目標

県民みんなでトライ！なくそう食品ロス

消費者、事業者、行政等の多様な主体が食品ロス削減を「我が事」として捉え、相互に連携・協力し、フードサプライチェーン全体で食品ロスの削減を推進することにより、持続可能な生産と消費が行われる社会を岩手から実現することを目的とします。

▶ 計画の主要指標

指標 1	2030（令和12）年度の食品ロス発生量を2018（平成30）年度比で18%削減する （2030（令和12）年度における食品ロス発生量を4.3万トン以下にする）
指標 2	2030（令和12）年度における「食品ロス問題を認知して削減に取り組む消費者」の割合を90%にする

計画の推進

▶ 計画の進捗管理

- ・施策の**実施状況を定期的に点検**し、進捗を評価し、必要に応じて施策を見直し
- ・施策の実施状況や社会情勢の変化等を踏まえ、**おおむね5年を目途に計画の見直しを検討**

▶ 計画の施策推進指標

- ・計画の基本目標の達成に向けた具体的施策に係る「**施策推進指標**」を設定

指標名	単位	現状値 (R2)	目標値 (R7)	担当室課
消費者教育関連セミナー受講者数	人	4,910	5,800	県民生活センター
食育普及啓発キャラバンの参加者数（累計）	人	—	1,300	県民くらしの安全課
商品開発等の支援による6次産業化件数（累計）	件	24	84	流通課
企業等のビジネス支援件数	件	49	60	産業経済交流課
エコショップいわて認定店舗数	店舗	173	226	資源循環推進課
災害備蓄食品の廃棄量	kg	0	0	防災課
こども食堂など子どもの居場所づくりに取り組む市町村数	市長村	21	33	子ども子育て支援室

主要指標進捗状況

▶ 指標 1

2030年度の食品ロス発生量を2018年度比で18%削減する

年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標値	—	51,493	50,721	49,949	49,177	48,405	47,633	46,860
(家庭系)	—	22,852	22,502	22,152	21,801	21,451	21,101	20,751
(事業系)	—	28,641	28,219	27,797	27,375	26,953	26,532	26,110
実績値（推計値）	52,265	52,191	51,432	51,113	47,438	—	—	—
(家庭系)	23,202	21,762	22,418	21,729	21,851	—	—	—
(事業系)	29,063	30,428	29,014	29,384	25,587	—	—	—

R8	R9	R10	R11	R12
46,088	45,316	44,544	43,772	4.3万
20,401	20,051	19,700	19,350	1.9万
25,688	25,266	24,844	24,422	2.4万
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—

※ 目標値は家庭系および事業系の合計値。
また、R1～R11年度はH30からR12
まで比例して減少するとした場合の参考値

農林水産省及び環境省調査から推計

主要指標進捗状況

▶ 指標 2

2030年度の『食品ロス問題を認知して削減に取り組む消費者の割合』を90%にする

年度		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標値 (%) ※ 1		—	75.5	76.8	78.1	79.4	80.7	82.0	83.3
実績値	(全国)	71.0	76.5	76.6	78.3	76.9	76.7	74.9	—
	(県)	74.2	84.2	76.7	75.0	84.6	68.9	74.2	—

R8	R9	R10	R11	R12
84.6	85.9	87.2	88.5	90
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—

※ 1 目標値のR1～R11年度はH30からR12まで比較して増加するとした場合の参考値。

消費者庁消費者意識調査から推計

【参考】（主要指標 2） 県民生活基本調査（ふるさと振興部）

「ごみの減量化などのため、普段どのような行動に努めていますか」の問いに対して、「買い物の際に使いきれぬ食材だけを購入する、外食の際に食べきれぬ量を注文するなど食品ロスを減らすよう努めている」と答えた人の割合

年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
(%)	※	—	88.8	—	89.2	—	89.2

※ 上記の項目なし ⁶